

NX6000/NX3000/NX1000

Ultra-Lightweight 6000/3000/1000 W Class-D Power Amplifier with SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

NX4-6000

Ultra-Lightweight 6000 W 4-Channel Class-D Power Amplifier with SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

NX6000D/NX3000D/NX1000D

Ultra-Lightweight 6000/3000/1000 W Class-D Power Amplifier with DSP Control and SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

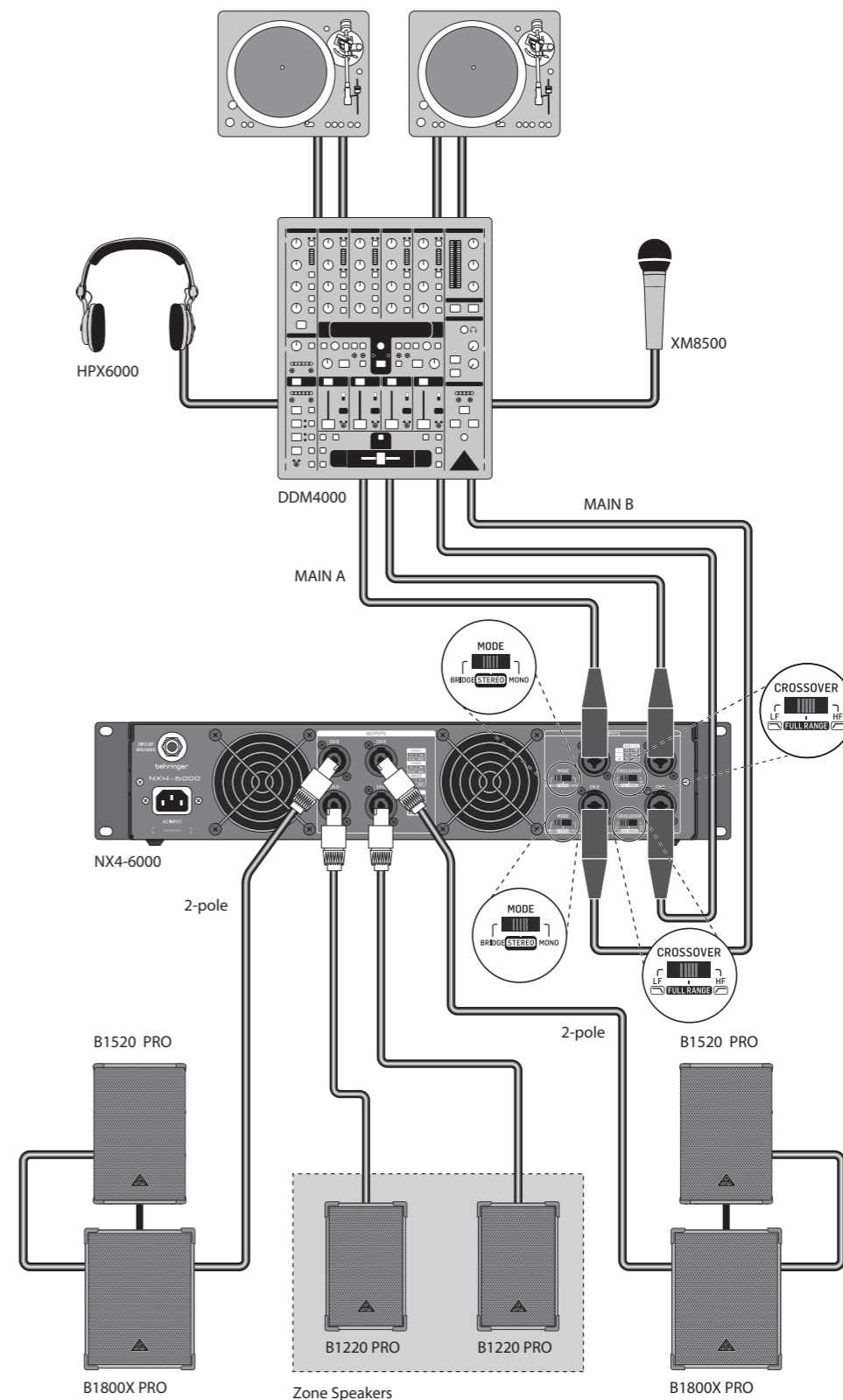
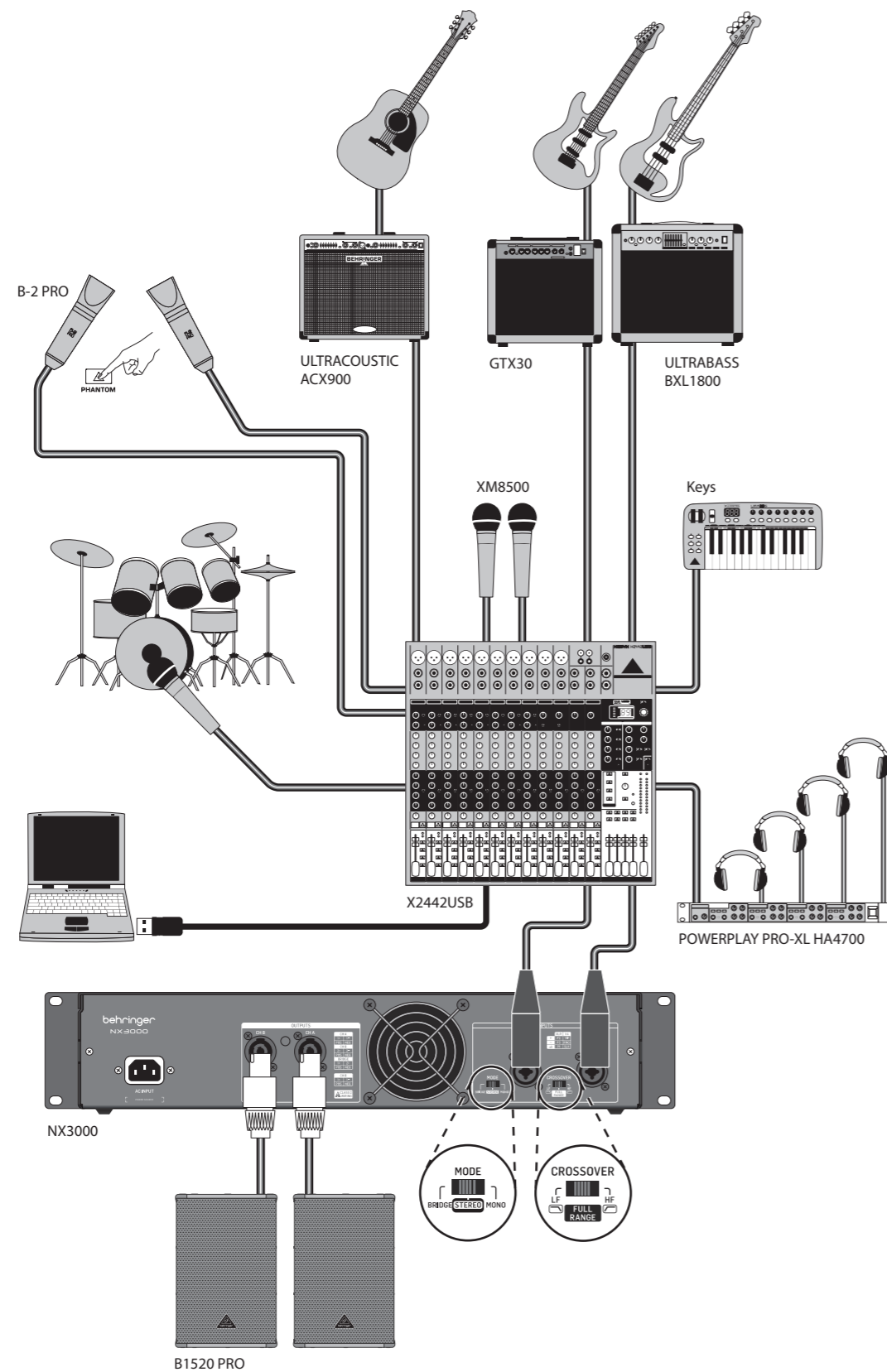
NX シリーズフックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ

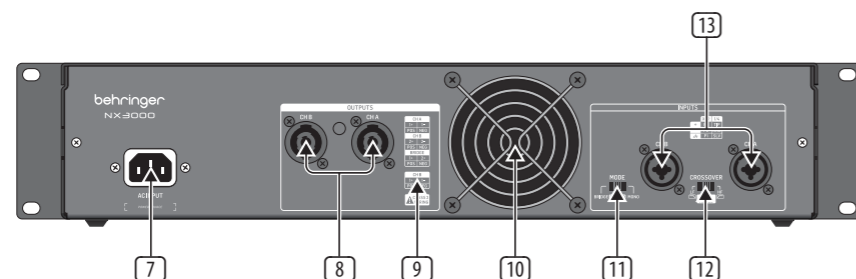
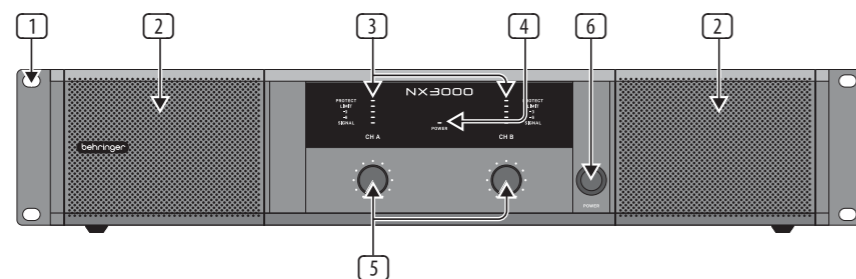
フルバンドをコンピューターに録音
(1台のアンプファイヤー / ステレオモード)

DJ での接続

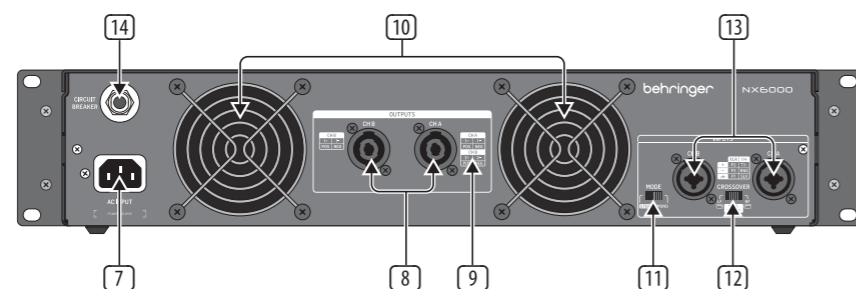


NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 コントロール

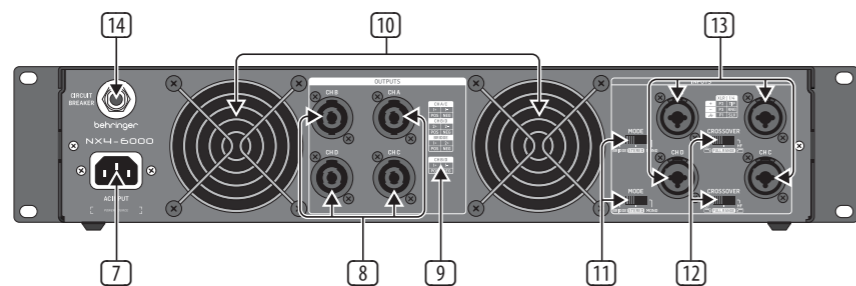
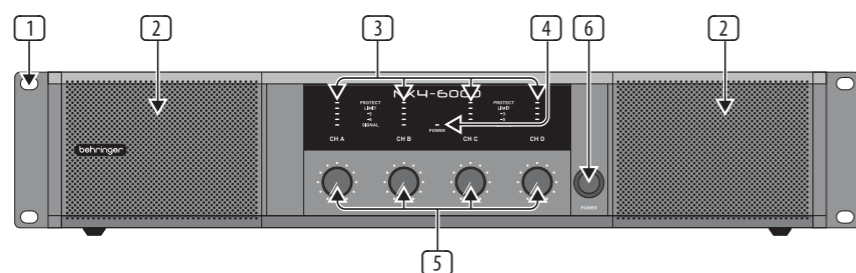
JP



NX3000/NX1000



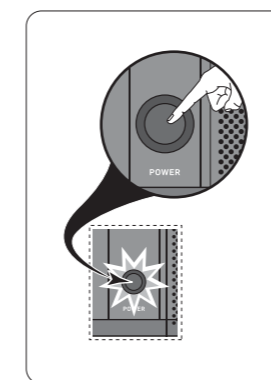
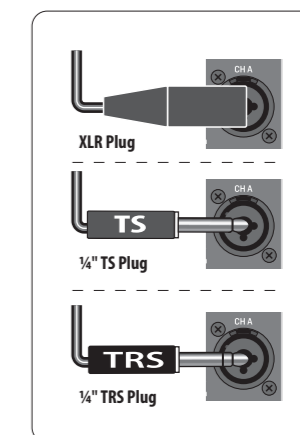
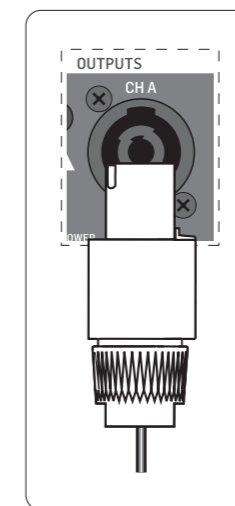
NX6000



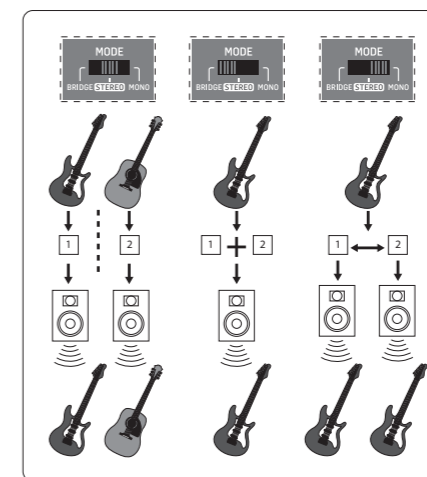
NX4-6000

ステップ 2: コントロール

- RACK EARS** 4つの取り付けネジとワッシャー (留め具は含まれていません) を使用して、ユニットをラックに固定します。2つのラック ユニットが必要 です。
- VENTILATION** 開口部により、背面から 前面への空気循環が可能になり、過 熱を防ぎます。
- SIGNAL, LIMIT, および PROTECT LED** は、 各チャンネルの信号レベルとシステム ステータスを表示します。SIGNAL LED が点灯して、入力信号レベルを示し ます。入力信号が最適なレベルを超え ると LIMIT LED が点灯し、内部リミッ ターが作動します。赤色の LIMIT LED が 連続して点灯する場合は、入力ゲイ ンを下げてください。PROTECT LED は、 動作エラー (過電流、過熱など) が発 生したときに表示されます。操作エラ ーが発生すると、PROTECT LED が点灯 し、エラーが検出されなくなるまで自 動的にチャンネルをミュートし、その 後 PROTECT LED がオフになり、アンプは 正常に動作します。
- POWER LED** ユニットの電源が入ってい ることを示すために点灯します。
- INPUT CONTROLS** 入力レベルを調整し ます。信号ゲインを上げるには、ノブ を時計回りに回します。ゲインを下 げるには、ノブを反時計回りに回し ます。
- POWER** ボタンでアンプのオンとオフを 切り替えます。
- OUTPUTS** ツイストロックプラグ付きの プロフェッショナルスピーカーケー ブルを使用して、アンプをスピーカーに 接続します。
- CROSSOVER** スイッチは、FULLRANGE, LF (低域クロスオーバー), HF (高域クロス オーバー) の3つのモードから選択し ます。LFモードでは、ユニットは信号 の低周波のみを増幅します。HFモー ドでは、ユニットは高周波のみを増幅 します。LFおよびHFモードは通常、パ イアンプアプリケーションで使用さ れます。
- INPUTS** XLR、バランス 1/4" TRS、またはア ンバランス 1/4" TS コネクタを使用し て、ラインレベルの入力信号をこれらの コンビネーションジャックにルーティ ングします。
- PIN OUT MATRIX** に、各スピーカー出力 ジャックで使用可能な出力ピン/チャ ネル構成を示します。
- VENTILATION FAN** 速度は自動的に調整 され、トラブルのない操作が保証さ れます。
- MODE SWITCH** MODE SWITCH を MONO, STEREO, BRIDGE の位置の間で切り替 えて、アンプのモードを選択します (NX6000: BRIDGE モードはありません)。
- BREAKER** (自動ヒューズ、NX6000 および NX4-6000 のみ)。誤動作の原因を取り 除いた後は、ブレーカーを押して電源 を入れ直すだけです。BREAKER は、一 般的な廃棄可能なヒューズの代わり に機能します。



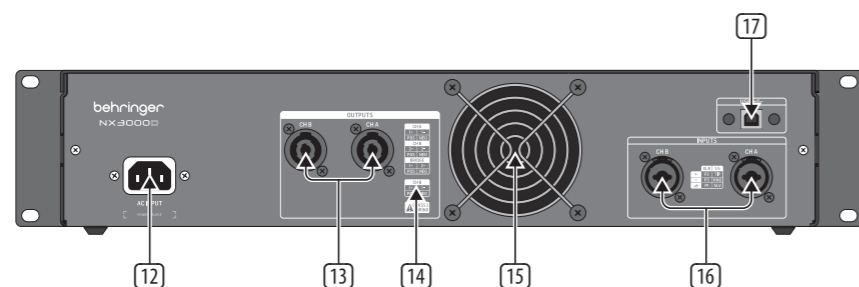
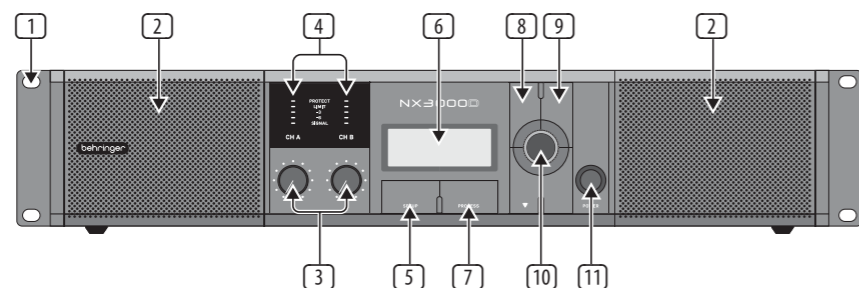
- POWER SOURCE** ジャックは、付属の IEC 電源ケーブルを受け入れます。



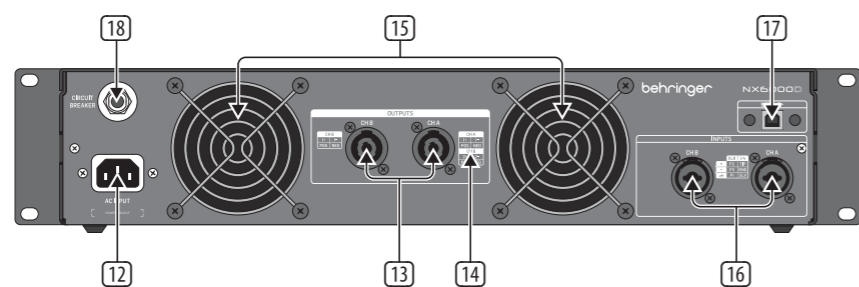
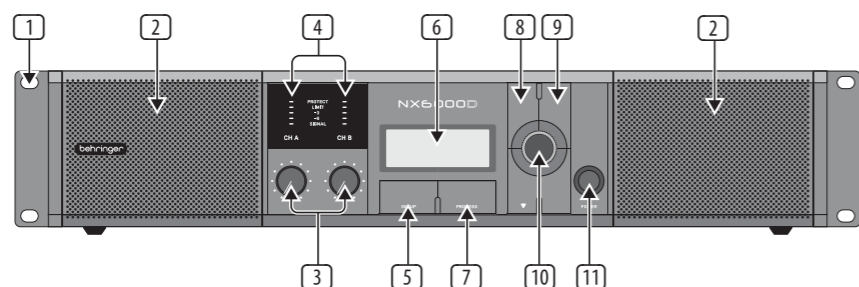
ブレーカーの注意事項: もしブレーカーが 作動した場合、ブレーカーをリセットする 前に以下の作業を行ってください。

- AC メインケーブルを抜いてください。
- POWER ボタンを "OFF" にしてください。
- すべての入力ゲインコントロールを下げて ください。
- ブレーカーをリセットして本体に電源を 接続します。そして電源ボタンを ON に して、ゲインを任意のボリュームまでゆ っくりください。

NX6000D/NX3000D/NX1000D コントロール



NX3000D/NX1000D

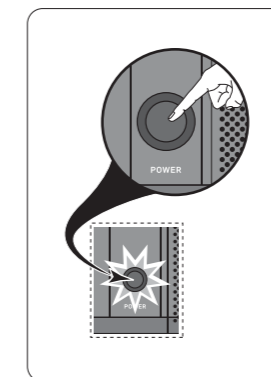


NX6000D

ステップ 2: コントロール

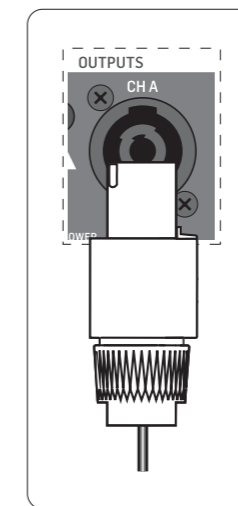
- ① **RACK EARS** 4つの取り付けネジとワッシャー (留め具は含まれていません) を使用して、ユニットをラックに固定します。2つのラックユニットが必要です。
- ② **VENTILATION** 開口部により、背面から前面への空気循環が可能になり、過熱を防ぎます。
- ③ **INPUT CONTROLS** 入力レベルを調整します。信号ゲインを上げるには、ノブを時計回りに回します。ゲインを下げるには、ノブを反時計回りに回します。
- ④ **SIGNAL, LIMIT** および **PROTECT LED** は、各チャンネルの信号レベルとシステムステータスを表示します。SIGNAL LED が点灯して、入力信号レベルを示します。入力信号が最適なレベルを超えると LIMIT LED が点灯し、内部リミッターが作動します。赤色の LIMIT LED が連続して点灯する場合は、入力ゲインを下げてください。PROTECT LED は、動作エラー (過電流、過熱など) が発生したときに表示されます。操作エラーが発生すると、PROTECT LED が点灯し、エラーが検出されなくなるまで自動的にチャンネルをミュートし、その後 PROTECT LED がオフになり、アンプは正常に動作します。
- ⑤ **SETUP** ボタンは、DSP 処理モジュール内のパラメーターをステップ実行します。
- ⑥ **LCD SCREEN** 現在の DSP モジュールとパラメータ設定を表示します。
- ⑦ **PROCESS** ボタンは、DSP 処理モジュールをステップスルーします。
- ⑧ **UP/DOWN** ボタンは DSP モジュールをステップスルーします。
- ⑨ **EXIT** ボタンをクリックすると、最上位の DSP 画面に戻ります。
- ⑩ **SELECT** エンコーダーノブは、グラフィックモードと編集モードを切り替え (押すと)、パラメーター値を変更します (回転すると)。

- ⑪ **POWER** ボタンでアンプのオンとオフを切り替えます。



- ⑫ **POWER SOURCE** ジャックは、付属の IEC 電源ケーブルを受け入れます。

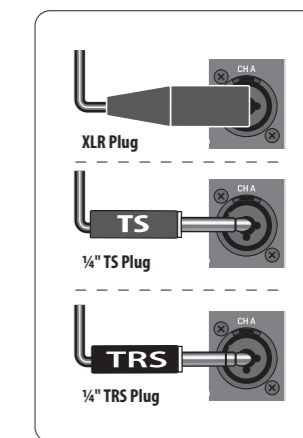
- ⑬ **OUTPUTS** ツイストロックプラグ付きのプロフェッショナルスピーカーケーブルを使用して、アンプをスピーカーに接続します。



- ⑭ **PIN OUT MATRIX** に、各スピーカー出力ジャックで使用可能な出力ピン/チャンネル構成を示します。

- ⑮ **VENTILATION FAN** 速度は自動的に調整され、トラブルのない操作が保証されます。

- ⑯ **INPUTS** XLR、バランス 1/4" TRS、またはアンバランス 1/4" TS コネクタを使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。



- ⑰ **USB** 接続により、コンピューターを介してファームウェアの更新とパラメーターの制御が可能になります。お使いのコンピューター用の DSP コントロール ソフトウェアをダウンロードするには、behringer.com にアクセスしてください。USB ポートはアンプの設定専用です。

- ⑱ **BREAKER** (自動ヒューズ、NX6000D)。誤動作の原因を取り除いた後は、ブレーカーを押して電源を入れ直すだけです。BREAKER は、一般的な廃棄可能なヒューズの代わりに機能します。

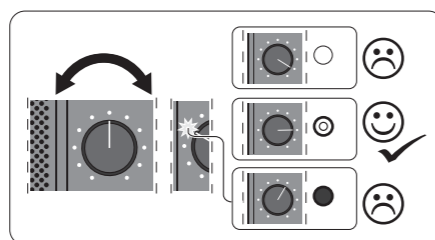
ブレーカーの注意事項: もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- AC メインケーブルを抜いてください。
- POWER ボタンを "OFF" にしてください。
- すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆっくください。

NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1** アンプリファイヤーと音源の電源が OFF になっていることを確認します。
- 2** すべての CHA/CHB コントローラを完全に反時計方向へいっぱいの位置に設定します。
- 3** 音源 (ミキサー、CD プレイヤー、コンピューター) の電源を入れます。
- 4** POWER ボタンを押し、アンプリファイヤーの電源を入れます。
- 5** 音源の出力レベルを設定します。
- 6** INPUT コントロールを調節し、入力レベルを設定します。
もし LIMIT LED が頻繁に点灯する場合は、INPUT コントロールを LIMIT LED がまれにしか点灯しなくなるまで下げます。このレベル設定により、信号の強さとアンプのヘッドルームの間で最適なバランスを得ることができます。



NX6000D/NX3000D/NX1000D はじめに

- 1** POWER ボタンを押してアンプの電源を入れます。LCD ディスプレイにスタートアップ画面が表示されます。



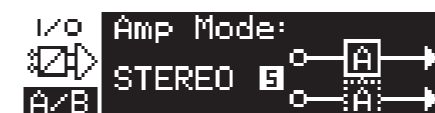
- 2** PROCESS ボタンを押すと、DSP 画面が表示されます。

- 3** 各画面で SELECT エンコーダー・ノブを押し、グラフィック・モードとエディット・モードを切り替えます。

- 4** グラフィックモードでは、SELECT エンコーダー・ノブでアクティブなチャンネルとモジュール・ナンバーを選択します (例: DEQ フィルター A#1 または A#2)。

- 5** エディット・モードでは、SELECT エンコーダー・ノブでパラメーターの変更をします。UP/DOWN/EXIT ボタンを押して値とチャンネルを操作します。

- 6** I/O 画面 (アンプ・モード) では以下の信号パスを選択します: BRIDGE、DUAL (デュアル・モノ)、STEREO、BIAMP1 または BIAMP2。



- 7** PEQ 画面では、最大 8 つのパラメトリック・イコライザー・フィルターを使用して音を処理します。



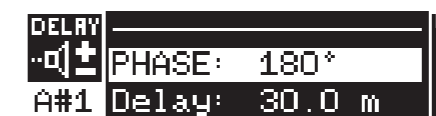
- 8** XOVER 画面では、最大 2 個までのカットオフ周波数クロスオーバー・ポイントを、また各アウトプットには最大 10 個までの異なるフィルターカーブを選択できます。



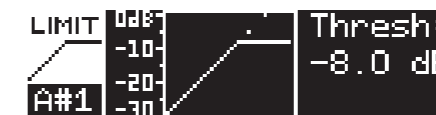
- 9** DEQ スクリーンでは、ダイナミック EQ モジュール (各ステレオチャンネル最大 2 つ) を使用して、信号の指定した周波数レンジをモニターします。特定の周波数レンジをブーストまたはカットするために、レイシオ (Ratio)、アタック (Atime)、リリース (Rtime) パラメーターに基づいて、ダイナミック EQ をプログラムすることもできます (バンドパス、ハイパス、ローパス)。



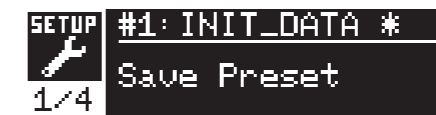
- 10** DELAY 画面では、システムの位相相殺の問題を調整します。特定のチャンネルの位相 (PHASE: 0 または 180)、および / または信号の出力の遅延 (Delay: 0-300 msec) を行うことで、距離にしたがい変化する音 (例: ステージから観客席へ向けた PA スピーカーから出力される音との位相調整) にマッチさせます。



- 11** LIMIT 画面では、内蔵リミッターのスレッシュホールド (Threshold)、リリース (Rtime)、ホールド (Hold) などを設定を行います。



- 12** SETUP ボタンを押すと、プリセットのロード、パネルのロック、パスワード設定、LCD コントラストの調整ができます。



- 13** DSP 画面のトップ階層に戻るには、EXIT ボタンを押してください。

注意: DSP では、直近の変更が 2 分間、または EXIT ボタンでメイン画面に戻った時、自動的に保存されます。そうして保存された変更は、次にユニットの電源を入れた時も引き続き有効です。

NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 バイアンプ

JP

ステップ 4: Bi-amping

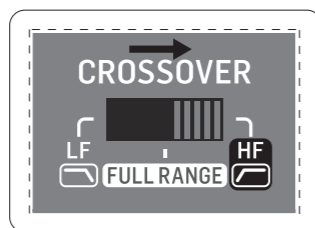
バイアンプ方式では、信号を高周波数帯と低周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別のスピーカー・キャビネットへと割り当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

水平バイアンプ方式

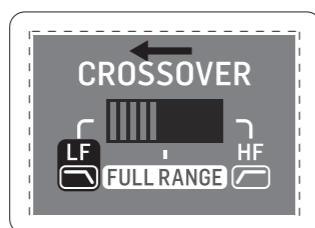
水平バイアンプ方式では、iNUKE アンプ1台で高周波を処理し、別の iNUKE アンプで低周波を扱います。

注意: NX4-6000 も基本的に同様ですが、アンプリファーマニユニットで全ての接続および設定をおこなえる利点を備えています。

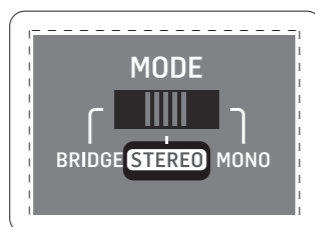
- 1 中/高周波用アンプリファーマニのクロスオーバー・スイッチの位置を「HF」にします。



- 2 低周波用アンプリファーマニのクロスオーバー・スイッチの位置を「LF」にします。



- 3 モード・スイッチの位置を「STEREO (ステレオ)」にします。



- 4 プロ用ツイストロック・コネクタの 4 極スピーカー・ケーブルを、各アンプの CHA 出力から、コネクタ・ディストリビューション・パネルへ接続します。各アンプリファーマニの A および B チャンネルが、1 本のケーブルで一緒にルーティングされます。

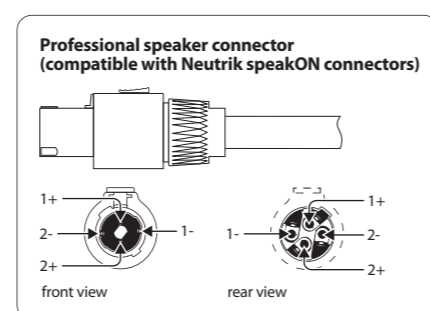
- 5 HF アンプの CHA 出力 (1+/1-) からディストリビューション・パネル左側出力の 1+/1- ピンへ、HF アンプの CHB 出力 (2+/2-) からパネル右側出力の 1+/1- ピンにルーティングされるようディストリビューション・パネルを配線します。

- 6 同様に、LF アンプの CHA 出力 (1+/1-) をパネル左側出力の 2+/2- ピンに、LF アンプの CHB 出力 (2+/2-) を、ディストリビューション・パネル右側出力の 2+/2- ピンにルーティングします。

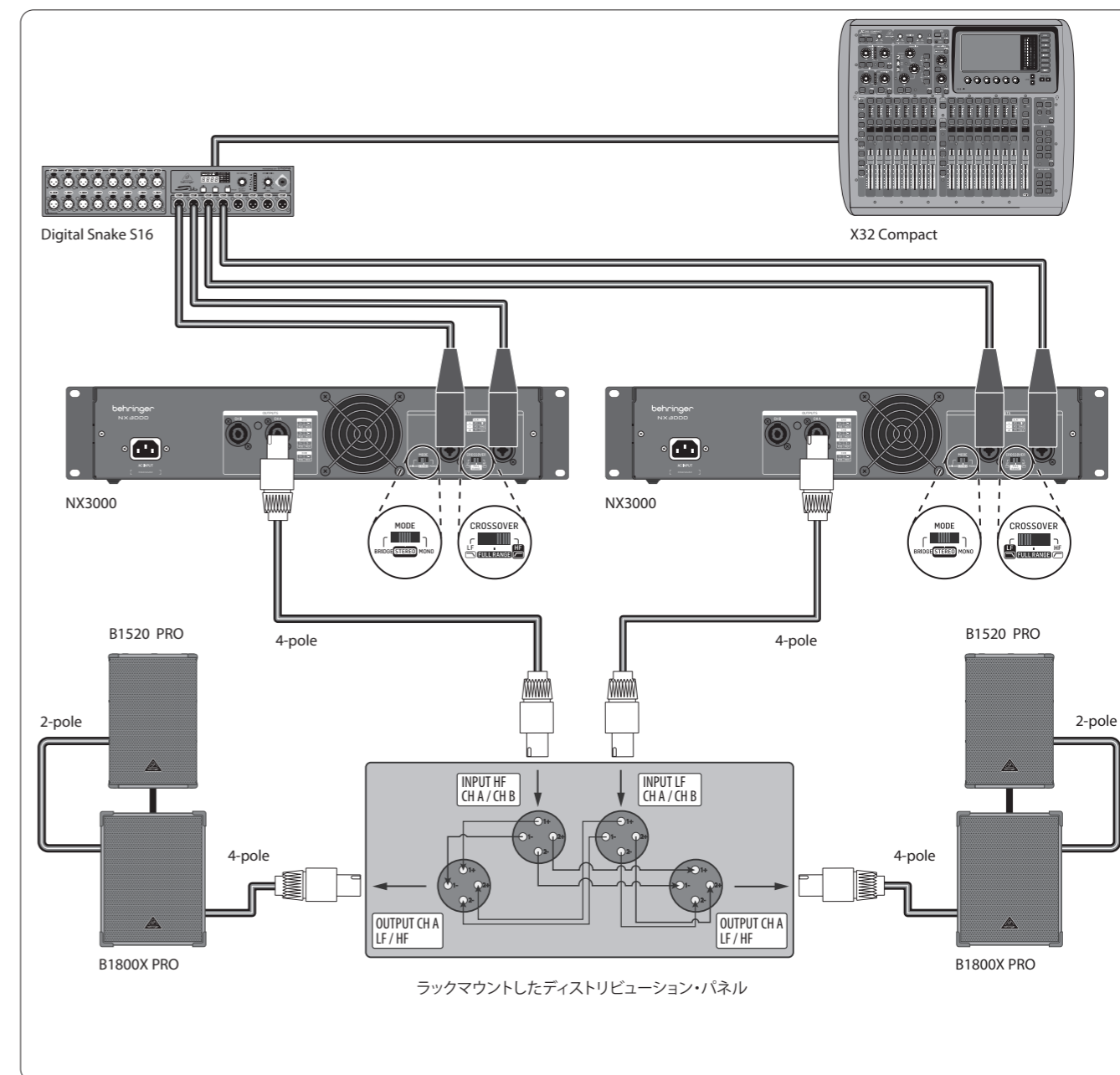
- 7 4 極ケーブルでディストリビューション・ラックの出力端子とサブウーファーマニを配線します。各 4 極ケーブルの 1+/1- ピンに HF アンプ信号、2+/2- ピンに LF アンプ信号が伝送されます。

- 8 サブウーファーマニをバイアンプ・モード (BIAMPING) にします。2+/2- ピンの LF アンプ信号がサブウーファーマニに、1+/1- ピンの HF アンプ信号はサブウーファーマニを通過して出力ジャックへ伝送されます。

- 9 2 極スピーカー・ケーブルをサブウーファーマニの出力ジャックから、中/高周波用スピーカーへ接続します。1+/1- ピンの HF アンプ信号で中/高周波用スピーカーが駆動されます。



注意: お使いのサブウーファーマニが 1+/1- ピンのみで動作する場合、ディストリビューション・パネルを使用せず、サブウーファーマニを直接アンプリファーマニに接続できます。この場合、各アンプリファーマニのステレオサイドにつき 2 極ケーブルを 2 本ずつ使用します。一方のアンプを中/高周波用スピーカーに、もう一方のアンプをサブウーファーマニに接続します。



NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 バイアンプ

JP

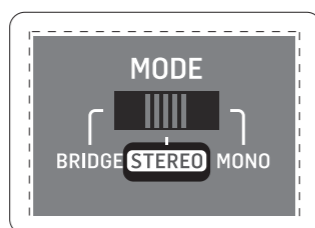
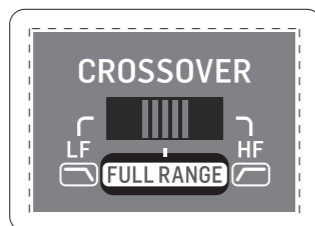
ステップ 4: Bi-amping

垂直バイアンプ方式

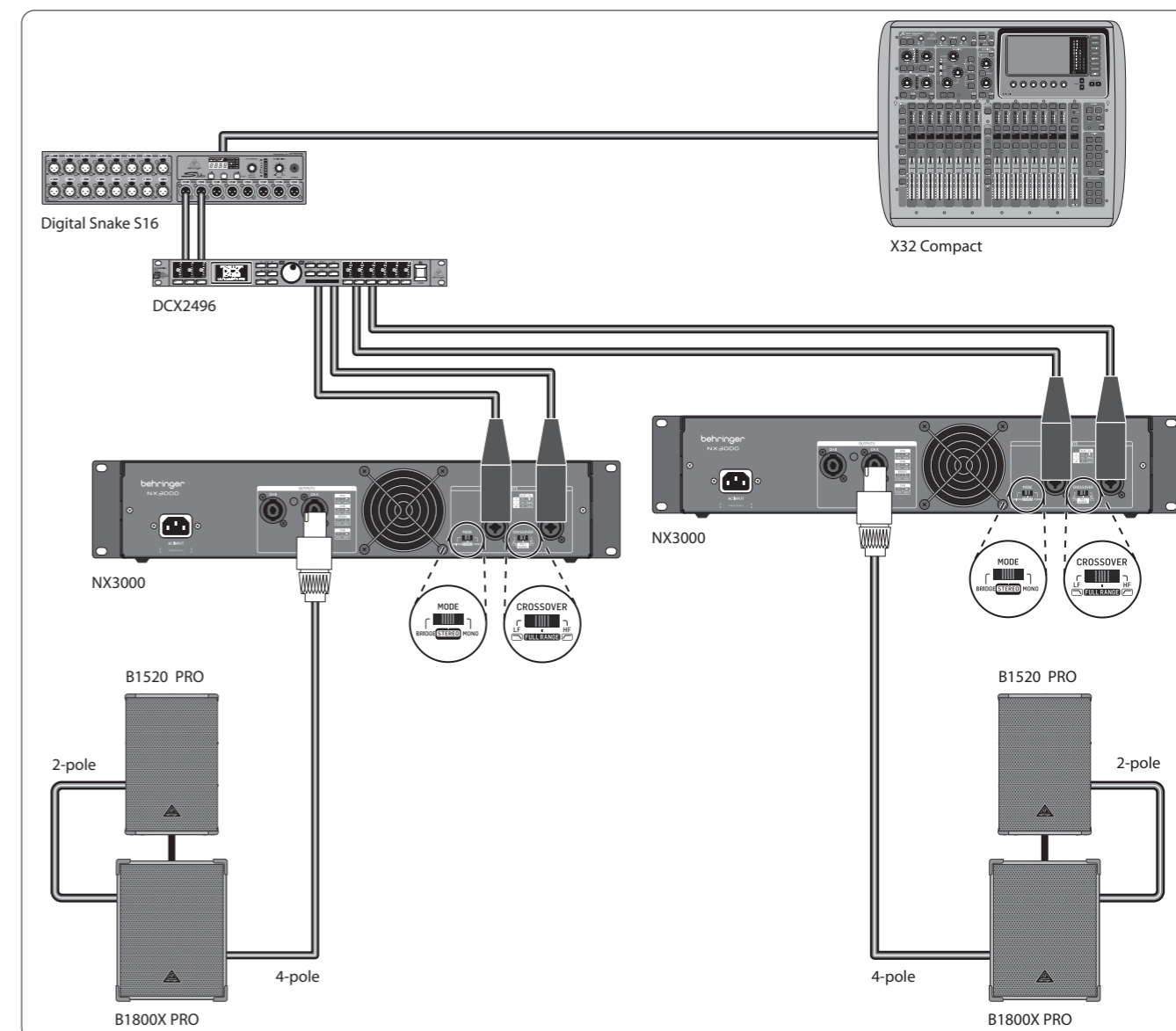
垂直バイアンプ方式は、各ステレオサイドにつきアンプリファー 1 台を接続します。外部クロスオーバー機器で、オリジナル信号を、低周波信号と中/高域周波信号に分割し、それぞれを別々に増幅します。

注意: NX4-6000 も基本的に同様ですが、アンプリファーユニットで全ての接続および設定をおこなえる利点を備えています。

- 1** 外部クロスオーバー機器を、ステレオ信号を 100Hz 近辺で低周波数帯および、中/高周波数帯に分割するように設定します。
- 2** 中/高周波信号をクロスオーバー機器から各アンプの CHA 入力に接続します。
- 3** 低周波信号をクロスオーバーから各アンプの CHB に接続します。
- 4** 左右のアンプリファーの、クロスオーバー・スイッチの位置を「フルレンジ (FULLRANGE)」にします。
- 5** 両アンプリファーのモード・スイッチの位置を「ステレオ (STEREO)」にします。



- 6** 各アンプの CHA 出力から、ツイストロク式プロ用 4 極スピーカー・ケーブルを使ってそれぞれ左右のサブウーファーへ接続します。
- 7** サブウーファーを「バイアンプ (BIAMPING)」モードにします。
- 8** サブウーファーから、ツイストロク式プロ用 2 極スピーカー・ケーブルを中/高周波用スピーカーに接続します。

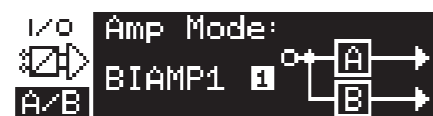


NX6000D/NX3000D/NX1000D バイアンプ

JP

ステップ 4: Bi-amping

1 アンプ・モード画面で BI-AMP1 設定を選択します。



2 回転ロック式コネクタ付きの 4 芯のスピーカーケーブルを OUTPUT 1 からサブウーファーに接続します。(サブウーファーは 2+ と 2- の芯から低周波数域の信号を受け取ります。一方、中高域の周波数帯は Channel A の 1+ と 1- の芯を使います)。

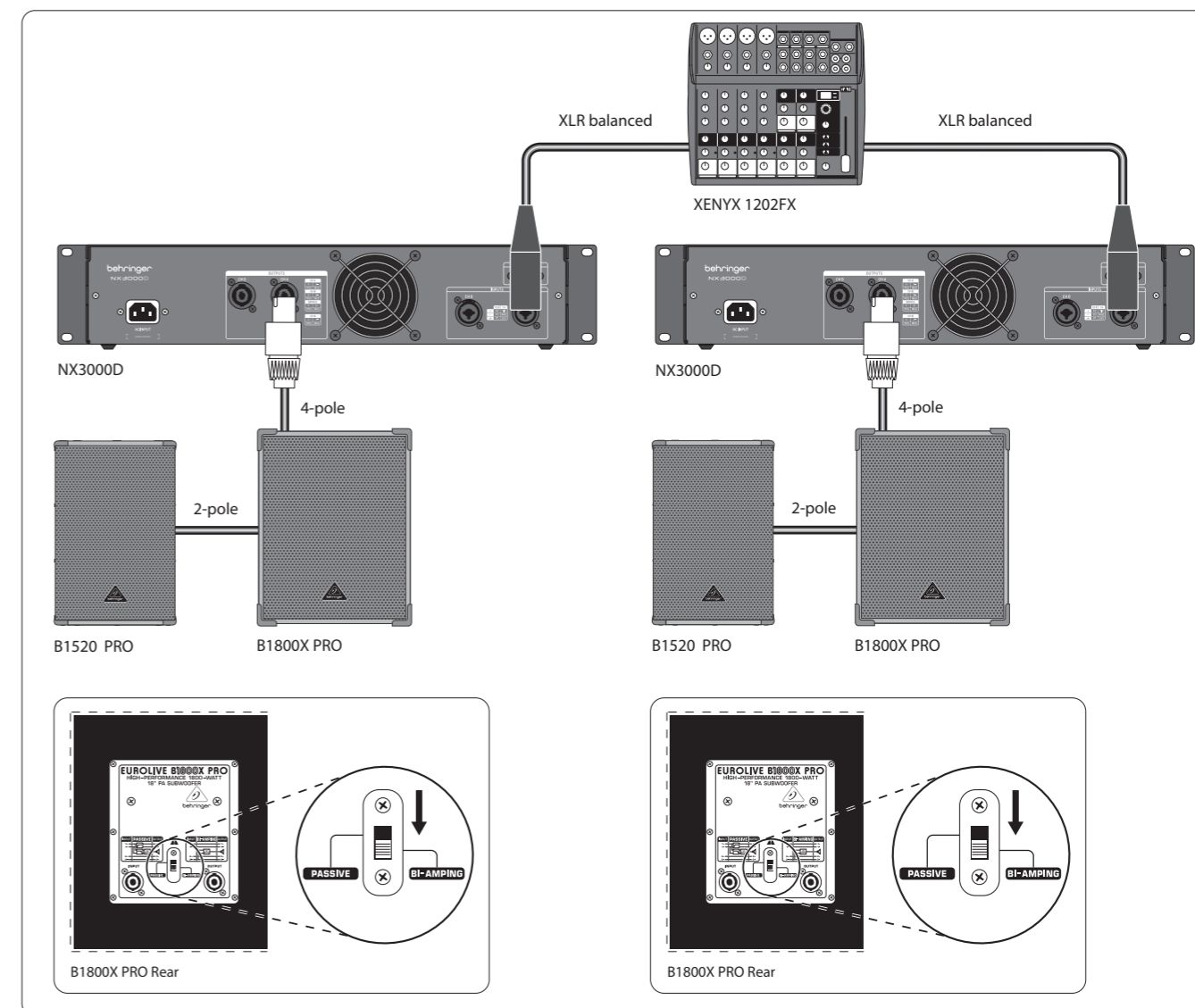
3 サブウーファーを“バイアンプ”のモードに設定します。

4 回転ロック式コネクタ付きの 2 芯のスピーカーケーブルを、サブウーファーから別のスピーカーに接続します。

5 UP/DOWN ボタンを使用して XOVER 画面に行き、適切な high/low クロスオーバー周波数を設定してください。

6 チャンネル A#1 の High パスフィルター・タイプ (HPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (HPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの Low パスフィルター (LPtype: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。

7 チャンネル B#1 の Low パスフィルター・タイプ (LPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (LPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの High パスフィルター (HP type: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。



JP 技術仕様

JP

	NX6000D	NX6000	NX4-6000	NX3000D
最大出力電力				
ステレオ / 4チャンネル				
チャンネルあたり 2Ω、ステレオ	—	—	4 x 1600 W	2 x 1500 W
チャンネルあたり 4Ω、ステレオ	2 x 3000 W	—	4 x 860 W	2 x 900 W
チャンネルあたり 8Ω、ステレオ	2 x 1600 W	—	4 x 440 W	2 x 440 W
ブリッジ接続				
4Ω	—	—	2 x 3000 W	3000 W
8Ω	—	—	2 x 1600 W	1500 W
最大出力電力				
フロント	電源スイッチ、ゲインコントロール (チャンネル A および B)、DSP セクションロータリープッシュエンコーダープロセス、セットアップ、上/下、終了のボタン	電源スイッチ ゲインコントロール (チャンネル A および B)	電源スイッチ ゲインコントロール (チャンネル A、B、C、D)	電源スイッチ、ゲインコントロール (チャンネル A および B)、DSP セクションロータリープッシュエンコーダープロセス、セットアップ、上/下、終了のボタン
リア	サーキットブレーカー	モードスイッチ (ステレオ/モノラル) クロスオーバースイッチ (LF/フルレンジ/HF) サーキットブレーカー	2x モードスイッチ (ブリッジ/ステレオ/モノラル) 2x クロスオーバースイッチ (LF/フルレンジ/HF) サーキットブレーカー	—
指標				
力	琥珀色のバックライト付き LCD ディスプレイ	琥珀色の LED	琥珀色のバックライト付き LCD ディスプレイ	琥珀色のバックライト付き LCD ディスプレイ
制限 (チャンネルごと)	0 dB LED			
信号 (チャンネルごと)	-40 / -6 / -3 dB LED			
保護 (チャンネルごと)	赤色 LED			
入力感度				
4Ω への定格電力用	0.775 V (0 dBu)			
デジタル信号処理 (DSP)				
表示	LCD 128 x 32、琥珀色のバックライト付き	—	LCD 128 x 32、琥珀色のバックライト付き	LCD 128 x 32、琥珀色のバックライト付き
デジタルディレイ機能 (チャンネルごと)	0~300 ミリ秒	—	—	0~300 ミリ秒
デジタルクロスオーバー機能	3つのフィルタータイプ、最大 48 dB / オクターブ	—	—	3つのフィルタータイプ、最大 48dB / オクターブ
デジタル EQ 機能 (チャンネルごと)	8 バンドパラメトリック、2バンドダイナミックイコライザー	—	—	8 バンドパラメトリック、2バンドダイナミックイコライザー
デジタルダイナミクス機能 (チャンネルごと)	ゼロアタックリミッター (ピーク)	—	—	ゼロアタックリミッター (ピーク)
プリセット	合計 20 のプリセット、19 のユーザー定義可能	—	—	合計 20 のプリセット、19 のユーザー定義可能

	NX6000D	NX6000	NX4-6000	NX3000D
システム				
入力	2x コンボジャック		4x コンボジャック	2x コンボジャック
入力インピーダンス	10 kΩ 不平衡、20 kΩ 平衡			
出力	2x ロックスタイルのプロフェッショナルスピーカーコネクタ		4x ロックスタイルのプロフェッショナルスピーカーコネクタ	2x ロックスタイルのプロフェッショナルスピーカーコネクタ
出力回路タイプ	クラス D			
ねじれ	<0.2 %	<0.1 %	<0.2%	<0.3%
周波数応答	20 Hz~20 kHz、+0 / -2 dB			20 Hz~20 kHz、+0 / -1 dB
ダンピングファクター	> 140 @ 8 Ω		> 145 @ 8 Ω	
信号対雑音比	> 100 dB			
USB	DSP セクションのリモートコントロール用のリアパネル USB コネクタタイプ B	—	—	DSP セクションのリモートコントロール用のリアパネル USB コネクタタイプ B
回路保護				
冷却	連続可変速ファン 後ろから前への空気の流れ			
アンプ保護	熱および DC 保護 反応性負荷または不一致負荷に対して安定			
負荷保護	オン/オフミュート、DC 障害電源装置のシャットダウン			
電源、電圧、消費電流 (ブレーカー/ヒューズ)				
アメリカ/カナダ	120 V~、60 Hz、(T 25 AH 250 V)			100-120 V~、50/60 Hz、(T 10 AH 250 V)
日本	100 V~、50/60 Hz、(T 25 AH 250 V)			100-120 V~、50/60 Hz、(T 10 AH 250 V)
英国/オーストラリア/ヨーロッパ	220-240 V~、50/60 Hz、(T 12 AH 250 V)			220-240 V~、50/60 Hz、(T 6.3 AH 250 V)
韓国/中国	220-240 V~、50/60 Hz、(T 12 AH 250 V)			220-240 V~、50/60 Hz、(T 6.3 AH 250 V)
消費電力 @ 2Ω、定格電力½	—		620 W	350 W
消費電力 @ 4Ω、定格電力¼	620 W	620 W	—	—
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル			
寸法/重量				
寸法 (H * x W x D)	94 x 483 x 316 mm (3.7 x 19.0 x 12.4 ")			94 x 483 x 231 mm (3.7 x 19.0 x 9.1")
重量	6.0 kg (13.2 lbs)	5.9 kg (13.0 lbs)	6.1 kg (13.4 lbs)	3.6 kg (7.9 lbs)

* 5 mm のゴム足を含む

JP 技術仕様

JP

	NX3000	NX1000D	NX1000
最大出力電力			
ステレオ / 4チャンネル			
チャンネルあたり 2Ω、ステレオ	2 x 1500 W		2 x 500 W
チャンネルあたり 4Ω、ステレオ	2 x 900 W		2 x 300 W
チャンネルあたり 8Ω、ステレオ	2 x 440 W		2 x 160 W
ブリッジ接続			
4Ω	3000 W		1000 W
8Ω	1500 W		620 W
コントロール			
フロント	電源スイッチゲインコントロール (チャンネル A および B)	電源スイッチ、ゲインコントロール (チャンネル A および B)、プロセス、セットアップ、アップ/ダウン、終了用の DSP セクションロータリープッシュエンコーダーボタン	電源スイッチ ゲインコントロール (チャンネル A および B)
リア	モードスイッチ (ブリッジ/ステレオ/モノラル) クロスオーバースイッチ (LF/フルレンジ/HF)	—	モードスイッチ (ブリッジ/ステレオ/モノラル) クロスオーバースイッチ (LF/フルレンジ/HF)
指標			
力	琥珀色の LED	琥珀色のバックライト付き LCD ディスプレイ	琥珀色の LED
制限 (チャンネルごと)	0 dB LED		
信号 (チャンネルごと)	-40 / -6 / -3 dB LED		
保護 (チャンネルごと)	赤色 LED		
入力感度			
4Ω への定格電力用	0.775 V (0 dBu)		
デジタル信号処理 (DSP)			
表示	—	LCD 128 x 32、琥珀色のバックライト付き	—
デジタルディレイ機能 (チャンネルごと)	—	0~300 ms	—
デジタルクロスオーバー機能	—	3つのフィルタータイプ、最大 48 dB/オクターブ	—
デジタル EQ 機能 (チャンネルごと)	—	8バンドパラメトリック、2バンドダイナミックイコライザー	—
デジタルダイナミクス機能 (チャンネルごと)	—	ゼロアタックリミッター (ピーク)	—
プリセット	—	合計 20 のプリセット、19 のユーザー定義可能	—

	NX3000	NX1000D	NX1000
システム			
入力	2x コンボジャック		
入力インピーダンス	10 kΩ 不平衡、20 kΩ 平衡		
出力	2x ロックスタイルのプロフェッショナルスピーカーコネクタ		
出力回路タイプ	クラス D		
ねじれ	<0.05%	<0.1%	<0.05%
周波数応答	20 Hz~20 kHz、+0/-1 dB		
ダンピングファクター	> 145 @ 8Ω	> 155 @ 8Ω	
信号対雑音比	> 100 dB		
USB	—	DSP セクションのリモートコントロール用のリアパネル USB コネクタタイプ B	—
回路保護			
冷却	連続可変速ファン後ろから前への空気の流れ		
アンプ保護	熱および DC 保護無効または不一致の負荷に対して安定		
負荷保護	オン/オフミュージング、DC 障害電源装置のシャットダウン		
電源、電圧、消費電流 (ブレーカー/ヒューズ)			
アメリカ/カナダ/日本	100-120 V~、50/60 Hz、(T 10 AH 250 V)	100-120 V~、50/60 Hz、(T 6.3 AH 250 V)	
英国/オーストラリア/ヨーロッパ	220~240 V~、50/60 Hz、(T 6.3 AH 250 V)	220~240 V~、50/60 Hz、(T 3.15 AH 250 V)	
韓国/中国	220~240 V~、50/60 Hz、(T 6.3 AH 250 V)	220~240 V~、50/60 Hz、(T 3.15 AH 250 V)	
消費電力 @ 2Ω、定格電力 1/8	350 W	150 W	
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル		
寸法/重量			
寸法 (H * x W x D)	94 x 483 x 231 mm (3.7 x 19.0 x 9.1")		
重量	3.5 kg (7.7 lbs)	3.4 kg (7.5 lbs)	3.3 kg (7.3 lbs)

*5 mm のゴム足を含む

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の“Support”内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の“Support”内にある“Online Support”でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You